

公益社団法人 日本天文学会 理事会議事録

日 時：2021年12月25日（土）13時00分～15時10分

場 所：日本天文学会事務所（オンライン開催）

出席理事：山本、太田、久保田、町田、鈴木、酒向、鹿野、長瀧、江草、古澤、富田、生田、米原、深沢、西、北本、馬場、山村

出席監事：奥村、花岡

また、佐藤事務長、黒岩事務長補佐、田口谷事務長補佐が出席した。長瀧氏は14時前からの参加である。

I. 確認事項など

I-1. 議事に先立ち、出席者が18名で定足数を満たし、本会が成立することが確認された。

I-2. 前回議事録の確認

資料2に基づき、前回（2021年9月13日）の理事会議事録が報告され、承認された。

II. 議題

II-1. 新規加入者および移籍（準 → 正）の承認（資料3、鈴木）

2021年9月8日～2021年12月21日までに正会員入会申請64名、準会員入会申請16名、移籍（準 → 正）2名の申請があり、賛成多数で承認された。

II-2. 公益社団法人日本天文学会2022年度事業計画の承認（資料4、町田）

2022年度（2022年4月1日～2023年3月31日）事業計画書が提示され、次の代議員総会に提案することが賛成多数で承認された。

II-3. 公益社団法人日本天文学会2022年度予算案の承認（資料5、酒向）

2022年度（2022年4月1日～2023年3月31日）予算案が提示された。予算化されている名簿冊子配布は実施の有無を含め今後議論する予定と説明された。また、中長期的には事業の効率化などが必要な点が共有された。予算案を次の代議員総会に提案することが賛成多数で承認された。

II-4. 年会実行委員の交代について（資料6、古澤）

現委員の藤井友香氏（国立天文台）から大宮正士氏（アストロバイオロジーセンター）への交代が提案され、賛成多数で承認された。

II-5. PASJ編集委員の交代について（資料7、長瀧（黒岩氏代読））

現委員の長峯健太郎氏（大阪大学）から吉川耕司氏（筑波大学）への2022年4月1日付での交代が提案され、賛成多数で承認された。なお吉川氏の任期は、前任者の在任期間の終了までである。

II-6. 2022年度会費の納入期限延期について（資料8、酒向）

COVID-19の影響による学生と有期雇用の正会員の会費免除を、2022年度も実施することを検討中で、3月の理事会と代議員総会での承認の可能性があることが報告された。実施の場合に

予想される会費納入時の混乱を回避するため、2022 年度会費納入期限を通常より 1 ヶ月後ろ倒しした 2022 年 5 月末日とすることが提案され、賛成多数で承認された。

III. 報告

III-1. 移籍・退会等の報告（資料 3、鈴木）

2021 年 9 月 8 日～2021 年 12 月 21 日までに正会員退会 5 名、準会員退会 6 名があったことが報告された。

III-2. 年会実行委員会からの報告（資料 6、古澤および西）

2022 年春の年会（完全オンライン）の準備状況が報告された。これまでと異なる点として、(i) 昨年度は秋の年会に開催した PASJ 賞記念講演を本年度は春の年会時（4 日目午後）に開催する、(ii) ポスター発表に Google Sites を利用した新しい方式を採用する、(iii) 公開講演会は現地とオンライン併用のハイブリッド方式の予定である、ことが説明された。また、2022 年秋以降年会の対面開催の再開に向け、年会実行委員会と開催地理事で準備検討が行われていることが報告された。2022 年秋の年会（新潟大学）において、口頭講演は対面を主としたハイブリッド方式を、ポスター発表はオンライン開催で、試行する具体的な検討結果が説明された。

III-3. 男女共同参画委員会からの代議員総会での提案について（資料 10、馬場）

オンライン開催は、子育てや介護等で時間の制約のある研究者や、経済状況の厳しい研究者の参加を促す等の利点がある。COVID-19 の終息以降対面による年会が再開された後、保育室を継続しつつも、ハイブリッド方式による年会のオンライン参加の継続を、代議員総会に提案する予定であることが報告された。複数の理事からこの提案を支持する意見が出された。

III-4. 選挙管理委員会からの報告（代議員選挙結果）（資料 9、町田）

12 月 6 日に第 7 期代議員選挙（全て電子投票）が締め切れ、投票率はこれまでで最高の 43.4% となり、開票の結果 22 名の当選者と 2 名の補欠が決定したことが報告された。

III-5. 定款・細則の改定について（資料なし、山本）

代議員総会の議事進行のための定款と細則の改定の進捗状況が報告された。定款の改定案について内閣府に問い合わせた所、法律的な課題の指摘があり再検討する事となった。現状の定款のまま、(i) 声明の発出などの案件が発生する都度、特別決議とするかどうか代議員総会で確認する、(ii) 現状の定款は代議員以外の出席者にも委任を認めている状態であるが、代議員のみに委任する申し合わせ等を作成することが可能か、今後時間を掛けて検討していく予定であることが説明された。理事より顧問弁護士への相談の提案がなされた。

III-6. 天文教育委員会からの報告（資料 11、富田）

2022 年春季年会で予定されている天文教育フォーラム「天文教育普及における評価研究手法」について説明された。また、(i) 2021 年 9 月 13 日から 12 月 15 日までに講師紹介プログラムとして 4 件対応したこと、(ii) 女子中高生夏の学校での男女共同参画委員会との共同活動について広報をしたこと、(iii) IAU OAE（教育のための天文学推進室）の天文教育コーディネーター（NAEC）日本チームの活動状況が、日本天文教育普及研究会での IAU 天文教育コーディネーターWG のウェブサイトに掲載されていること、が報告された。

III-7. PASJ 報告（資料 7、長瀧）

既に後任が着任していた松下恭子委員が2022年5月末に退任予定であることが報告された。また、編集担当委員の負担の軽減のため、現在21名の委員の増員を検討していることが報告された。この際には、日本人・外国人の区別無く、また定年後の方も視野に入れて広く適任の方を探す方針とのことである。

III-8. 事務所の近況報告（佐藤）

特になし。

[資料リスト]

資料1 理事会出欠表

資料2 公益社団法人日本天文学会理事会（2021年9月13日）議事録（案）

資料3 加入者の承認、移籍の承認・報告、退会の報告

資料4 公益社団法人日本天文学会2021年度(2022年4月1日—2023年3月31日)事業計画書

資料5 2022年度予算案

資料6 日本天文学会理事会 2021年12月 年会実行委員会活動報告

資料7 PASJ 編集委員会からの議題と報告

資料8 2022年度会費の納入期限延長について

資料9 第7期日本天文学会代議員選挙 開票結果報告

資料10 ポストコロナにおける年会オンライン開催に関する議論のお願い

資料11 天文教育委員会より、前回理事会（2021年9月13日）以降の活動報告(2021年12月15日現在)

2021年12月25日

会 長：山本 智 印

副会長：太田 耕司 印

副会長：久保田 あや 印

監 事：奥村 幸子 印

監 事：花岡 庸一郎 印